

平成22年12月定例会会議録（第2号）

平成22年12月1日 水曜日 午前10時00分開議

町 田 義 昭 議 長 鈴 木 武 次 副議長

出席議員（17名）

1番	竹 田 博 一	議員	2番	鈴 木 悟 司	議員
3番	我 妻 昇	議員	4番	大 道 寺 信	議員
5番	谷 口 栄 子	議員	6番	蒲 生 光 男	議員
7番	佐々木 謙 二	議員	8番	安 部 隆	議員
9番	渋 谷 佐 輔	議員	10番	高 橋 孝 夫	議員
11番	大 沼 久	議員	12番	藤 原 民 夫	議員
13番	鈴 木 良 雄	議員	14番	小 関 勝 助	議員
15番	鈴 木 武 次	議員	17番	蒲 生 吉 夫	議員
18番	町 田 義 昭	議員			

欠席議員（1名）

16番 鈴 木 新 助 議員

+

説明のため出席した者

内 谷 重 治	市 長	新 野 潔	副 市 長
飯 澤 常 雄	総務課長兼選挙管 理委員会事務局長	平 英 一	財 政 課 長
遠 藤 健 司	企 画 調 整 課 長	松 木 英 司	税 務 課 長
宇津木 正 紀	市 民 課 長	松 木 幸 嗣	健 康 課 長
小 泉 良 一	福 祉 事 務 所 長	遠 藤 正 明	会 計 管 理 者 兼 会 計 課 長
矢久保 浩	消 防 主 幹	飯 田 武 志	監 査 委 員
加 藤 弘 二	教 育 委 員 長	大 滝 昌 利	教 育 長
遠 藤 誠 一	選 挙 管 理 委 員 会 委 員 長	那 須 宗 一	農 林 課 長
齋 藤 理 喜 夫	商 工 観 光 課 長	浅 野 敏 明	建 設 課 長
鈴 木 一 則	管 理 課 長	中 井 晃	文 化 生 涯 学 習 課 長
佐 藤 孝 博	生 涯 ス ポ ー ツ 課 長	鈴 木 要 一 郎	上 下 水 道 課 長
齋 藤 環 樹	学 校 給 食 共 同 調 理 場 長	青 木 邦 彦	監 査 委 員 事 務 局 長

+

渡 部 政 明 農業委員会事務局長

事務局職員出席者

松 本 弘	議 会 事 務 局 長	小 関 浩 幸	補	佐
高 橋 由 美	主 任	塚 田 知 広	主	任

議 事 日 程 (第 2 号)

平成 2 2 年 1 2 月 1 日 水曜日 午前 1 0 時 0 0 分開議

- 日程第 1 市政一般に関する質問
- 1 4 番 小 関 勝 助 議員
 - 1 7 番 蒲 生 吉 夫 議員
 - 6 番 蒲 生 光 男 議員
 - 1 0 番 高 橋 孝 夫 議員
 - 2 番 鈴 木 悟 司 議員

本日の会議に付した事件

十 議事日程 (第 2 号) に同じ

+

+

開 議

○町田義昭議長 おはようございます。

これより本日の会議を開きます。

本日の会議に欠席の通告議員は、16番、鈴木新助議員の1名であります。よって、ただいまの出席議員は定足数に達しております。

なお、鈴木榮一農業委員会会長から、本日の会議を欠席させてほしい旨の届け出があり、許可いたしましたので、ご報告いたします。

本日の会議は、配付しております議事日程第2号をもって進めます。

日程第1 市政一般に関する質問

○町田義昭議長 日程第1、市政一般に関する質問を行います。

なお、質問の時間は、答弁を含めて60分以内となっておりますので、ご協力をお願いいたします。

それでは、順次ご指名いたします。

小関勝助議員の質問

○町田義昭議長 順位1番、議席番号14番、小関勝助議員。

(14番小関勝助議員登壇)

○14番 小関勝助議員 おはようございます。

私は、12月定例会に当たりまして、通告しております2点について順次質問いたします。よろしく答弁をお願いいたします。

本年は長い猛暑が続き、その影響による農作物、特に本市の基幹産業である稲作にも大きな影響が出る近年にない厳しい年が終わろうとしております。

また、国政においても混迷が依然として続いている中、厳しい経済、雇用状況は明るい兆しが見えない現状にあります。

地方にあっては、地方分権、地域主権の流れにあります。財源や権限移譲は依然として進まない状況にあります。地方自治の重要性が増す中で、一段と行政の役割、特に首長の強いリーダーシップが今何よりも必要な時期です。

それでは、通告しております質問の第1、内谷市政2期目の抱負と課題について内谷市長に伺います。

市長は、11月14日執行の長井市長選に無投票で再選を果たされました。まことにおめでとうございます。と同時に、4年前の四つどもえの激戦を勝ち抜かれ僅差で当選されて以来、厳しい本市の財政の中、痛みの伴う行財政改革に取り組まれ、着実に健全財政に近づけたことへの実績の評価と、まだまだこの厳しいこの状況が続く中で「今後の4年間を内谷市長でもう一度頑張れ」との市民の大きなメッセージでもあると思います。

私は、今回、無投票で当選されたことについては、市長はより一層原点に立ち返り、市民の信頼を裏切ることなく引き続き強いリーダーシップと同時に将来に向けての誤りのない判断力、そして何よりも取り組むその責任が問われると思います。今後に向けた内谷市長の決意をお伺いします。

それからまた、今後の課題についても以下お伺いします。

市長は平成18年12月15日に就任されております。初年度、平成19年度においては厳しい財政を立て直すため、「財政危機脱出元年」と位置づけておられます。そして2年目の平成20年度

+